

JGGA

Japan Generic
Medicines Association

NEWS

2019年 令和1年

10月 | 138号

C O N T E N T S



トピックス

- 01 抗菌薬問題で4学会が厚労相に提言
株式会社じほう 報道局報道1部 大塚 達也



特別寄稿

- 03 八尾市におけるジェネリック医薬品
使用促進事業について
八尾市保健所保健企画課



リレー随想

- 08 7回目のリレー随想
光製薬株式会社 代表取締役社長 高橋 維朗



委員会活動報告

- 11 「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」
に係わる研修会を実施しました。
コードオブプラクティス委員会
- 12 コンプライアンス特別研修会
倫理委員会

- 13 次世代産業ビジョン(本編)発表会
政策委員会(政策実務委員会)

information

お知らせ

- 14 第10回日本アプライド・セラピューティクス学会学術大会
- 15 第50回日本看護学会-在宅看護-学術集会
- 16 第1回体験型小規模イベント(ミニ講座、体験学習)「個人の疾病
予防・健康づくりとジェネリック医薬品」
～しっかり予防。いざという時は、“飲みやすい”という選択～
- 17 パネルディスカッション(東京都)「ジェネリック医薬品シェア
80%達成に向けた課題と解決策」



知っ得!豆知識

- 18 「SDGs」

21 活動案内

23 編集後記

抗菌薬問題で4学会が厚労相に提言

株式会社じほう
報道局報道1部 大塚 達也

抗菌薬セファゾリンの供給制限問題を受け、日本化学療法学会、日本感染症学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会の4学会が8月30日付で、厚生労働大臣に安定供給に向けた提言を提出した。

共同で出された提言ではまず、抗菌薬の生産体制を国が把握するよう要求。リスク評価を行った上で、主要な薬は原料の原産地表示を製薬企業に義務付けるよう提案した。

次に、原薬の大半が中国など外国で製造されている現状を踏まえ、国内でも抗菌薬を製造できるよう許認可条件を見直したり、原薬から最終製品化まで国内で行っても利益が出せる薬価を設定するよう訴えた。

抗菌薬の薬価については、海外に原薬を依存している現状でも採算が合わなくなっており、まずはキードラッグを厚生科学審議会感染症部会などで選定し、該当製品の薬価を見直す仕組みが必要と指摘。4学会は提言にあわせて使用頻度が高いキードラッグ10剤も選定した。また、基礎的医薬品が新たな設備投資などで採算割れになった際に薬価を引き上げる制度や、採算割れの基礎的医薬品を抱える企業が薬価見直しを要求できる制度作りも主張した。

実際、供給制限が発生した日医工のセファゾリンは出発物質を製造する中国の製造所と原薬を製造するイタリアの製造所で不具合が発生した。また、そうして海外に原薬製造を委ねても薬価は製造コストを下回っている。提言は諸問題の具体的な解決策を模索した形だ。

もっとも、原薬からすべてを国内生産でまかなえる薬価制度の構築は言うまでもなく難しい。社会全体で医療費、社会保障費が抑制に向かう中、設備投資や人件費といったコストを補えるだけの価格は相当、非現実的なものになるだろう。純日本製抗菌薬誕生までに乗り越えなければいけないハードルはあまりに多い。

それでもやはり、医療側から薬価に関する提案が改めてなされたことは大きな意味がある。抗菌薬の重要性と同時に「安価で手に入るのが当たり前ではない」という価値観を多くのステークホルダーが共有できれば、問題解決に向けた道筋は見えてくるはずだ。

そもそも抗菌薬に限らず、後発医薬品企業は原薬の複数ソース化や製造所の査察など安定供給対策を行っている。業界はそれらを徹底し、自分たちだけでどうしようもない部分は今後も学会などと連携していくしかない。日医工のセファゾリン供給は年内にも再開の見込みとなっているが、抗菌薬ではタゾピペも4月に中国の原薬製造所で発生した事故の影響で、供給制限が発生している。出来るだけ早く、解決への道筋を見つけたい。



八尾市におけるジェネリック医薬品 使用促進事業について

八尾市保健所保健企画課

はじめに

八尾市は、「健康づくりの推進」を市政運営における重点取り組みの一つとしており、「みんなの健康をみんなで守る 市民が主役の健康づくり」を基本理念とし、みんなで行動することによって、地域全体が健康になる社会をめざしています。

平成30(2018)年4月、八尾市は中核市に移行し、保健所を設置すると共に、薬局の許可等、薬事関係の権限の一部が大阪府から移譲されました。これを機に、「市民主役の健康づくり」を進めるための事業の一環として、また、大阪府の後発医薬品安心使用促進事業(国の重点地域使用促進強化事業)のモデル事業として、市民及び市内の医療関係者にジェネリック医薬品を安心して使用していただくための取り組みを行うことになりました。

現状と目標

八尾市は、八尾市国民健康保険第2期データヘルス計画(2018～2023年度)において、ジェネリック医薬品の使用割合目標を80%としていますが、平成30年末時点の使用割合は72.7%*です。

※厚生労働省「調剤医療費(電算処理分)の動向 ～平成29年度版～」より

取り組み

1. 市民を対象にした啓発事業・意識調査

八尾市薬剤師会の協力を得て、市の施設(特に市内11か所にある出張所等)を活用して、市民がジェネリック医薬品に対する理解を深め、安心して使用していただくためのイベントや講習会等の啓発を行いました。

- (1) 地域の健康祭り(ブース出展)
- (2) 地域のがん検診・特定健診(待ち時間を活用した意識調査)
- (3) 高齢者給食会での啓発
- (4) 八尾市主催のイベント



- 健康まちづくり宣言記念式典(ブース出展)
- 10館合同コミセン祭り(ブース出展)
- 市民公開講座「ジェネリック医薬品を知ろう！」(八尾市立病院と共同開催)

日時:平成31年3月9日(土)午後2時～4時

会場:八尾市立病院 北館5階 大会議室

- 内容: ①八尾市におけるジェネリック医薬品使用促進のための取り組みについて 八尾市保健所
②八尾市立病院におけるジェネリック医薬品の使用状況 八尾市立病院
③保険薬局を利用しよう! 大阪府薬剤師会/八尾市薬剤師会
④ジェネリック医薬品使用が何故推進されるのか? 大阪府病院薬剤師会



(5)関係団体主催のイベント

消費者大会、健康・医療・福祉展(ブース出展)

(6)その他

- ジェネリック医薬品差額通知事業(国保所管課実施事業に、薬事所管課が対象医薬品の選定及び抽出条件の設定に協力し、より実効性のある事業を実施)
- FMちやお「情報プラザやお」に出演
- 複合商業施設「アリオ八尾」に啓発ブース設置
- 市政だよりに啓発記事掲載
- ジェネリック医薬品希望メッセージ入りの保険証ケースを配布

上記イベント等に併せて、市民の意識調査を行ったところ、

- ジェネリック医薬品は95.6%の方に認知されていました。
- ジェネリック医薬品を「使いたい」との回答割合は62.0%である一方、「場合によっては使いたくない」、「使いたくない」との回答割合は合わせて19.8%でした。

(調査期間:2018/7/21～11/18まで。回答数:735)

2. 市内病院におけるジェネリック医薬品の採用状況調査について

市内の医療機関又は薬局において、ジェネリック医薬品を採用する際の参考としていただくことを目的として、市内の病院において採用されているジェネリック医薬品の品目リストをまとめました。

このリストは、八尾市内の全病院から平成30年11月1日現在で採用しているジェネリック医薬品リストの提供を受け、取りまとめたもので、内用薬、外用薬、注射薬、歯科用の別に病院名を公表したもの(図1参照)を八尾市のホームページに掲載しています。

<https://www.city.yao.osaka.jp/0000046711.html>

(図1)

後発薬品採用リスト(内用薬)

平成30年11月1日現在

※ 先発医薬品名については、先発、準先発品でなくとも代表品目(下線)、剤型違い(斜字)も記載しています。

| 薬効分類 | 薬効分類名称 | 成分名 | 規格 | 後発医薬品名 | 薬価 | 先発医薬品名※ | 先発品薬価 | 採用病院数 | 病院名 |
|------|------------|----------|----------|--------------------|------|-----------------------|--------------|-------|-----------|
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | エスタゾラム | 1mg1錠 | エスタゾラム錠1mg「アメル」 | 6.3 | ユーロジン1mg錠 | 8.4 | 1 | J |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | エスタゾラム | 2mg1錠 | エスタゾラム錠2mg「アメル」 | 10.3 | ユーロジン2mg錠 | 13.3 | 1 | J |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | ニトラゼパム | 1%1g | ニトラゼパム細粒1%「TCK」 | 6.2 | ネルボン錠1% ベンザリン錠1% | 15.8 16.7 | 1 | J |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | ニトラゼパム | 5mg1錠 | ニトラゼパム錠5mg「ツルハラ」 | 5.4 | ネルボン錠5mg ベンザリン錠5 | 10 9.9 | 1 | J |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | ニトラゼパム | 5mg1錠 | ニトラゼパム錠5mg「テバ」 | 5.4 | ネルボン錠5mg ベンザリン錠5 | 10 9.9 | 1 | E |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | ニトラゼパム | 10mg1錠 | ニトラゼパム錠10mg「ツルハラ」 | 5.6 | ネルボン錠10mg ベンザリン錠10 | 15.6 15.4 | 1 | J |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | トリアゾラム | 0.25mg1錠 | トリアゾラム錠0.25mg「TCK」 | 5.8 | ハルシオン0.25mg錠 | 13.0 | 1 | K |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | トリアゾラム | 0.25mg1錠 | トリアゾラム錠0.25mg「日医工」 | 5.8 | ハルシオン0.25mg錠 | 13.0 | 3 | D,E,J |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | トリアゾラム | 0.25mg1錠 | トリアゾラム錠0.25mg「CH」 | 5.8 | ハルシオン0.25mg錠 | 13.0 | 1 | C |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | フルニトラゼパム | 1mg1錠 | フルニトラゼパム錠1mg「アメル」 | 5.6 | サイレース錠1mg | 12.6 | 5 | B,H,J,K,L |
| 112 | 催眠鎮静剤、抗不安剤 | フルニトラゼパム | 2mg1錠 | フルニトラゼパム錠2mg「アメル」 | 5.8 | サイレース錠2mg | 14.5 | 1 | J |

3. 地域の薬局で調剤された医薬品情報の共有

院外処方せんでは、薬を「一般名」で記載される事が多くなっていますが、この場合、処方した医師から、実際患者さんに調剤された医薬品の銘柄や剤型が分かりづらいとの声があがっています。そこで、お薬手帳を患者さんと薬局・医療機関との簡易の“連絡帳”として活用することで、処方医に患者さんに調剤された医薬品の情報が届きやすくするよう、図2のリーフレットを用いて啓発を行いました。

(図2)

The image shows two leaflets. The left one is titled 'お薬手帳を活用しましょう' (Let's use our medicine book) and features a cartoon character. It encourages patients to bring their medicine book to medical institutions. The right one is titled 'ジェネリック医薬品とは...' (What are generic drugs...). It explains that generic drugs have the same quality and safety as brand-name drugs but at a lower price. It includes a diagram comparing '医薬品' (Medicine) into '医療用医薬品' (Medical medicine) and '一般用医薬品' (General medicine), and '新薬' (New drug) into 'ジェネリック医薬品' (Generic medicine). It also lists benefits like cost-effectiveness, quality, and safety.



4. 市内に勤務する薬剤師を対象にした調査

八尾市内に勤務する薬剤師(病院、薬局)を対象にジェネリック医薬品の調剤実態を調査した結果、以下のことが分かりました。

- 薬剤師がジェネリック医薬品を選択する際に、重視する情報は、「安全性」>「製剤品質」>「有効性」>「流通」>「価格」の順でした。
- ジェネリック医薬品の情報源として活用しているものは、「製薬関連企業からの情報」>「公的機関からの情報」>「学術情報」の順でした。
- フォーミュラリを「よく知っている」と回答した割合は6.0%、「知っている」は28.9%、「知らない」は59.0%でした。

(調査期間:2018/11/9 ~ 12/21まで。回答数:166)

5. 懇話会の設置

ジェネリック医薬品の安心使用を促進するための方策を検討するために、関係者から意見の聴取を行う目的で、八尾市医師会、歯科医師会、薬剤師会、八尾市立病院、八尾市保健所の代表者からなる「八尾市医薬品適正使用に関する懇話会」(以下「懇話会」という。)を設置しました。

懇話会では、事務局から取り組み実績についての報告を行うとともに、今後の事業展開について様々なご意見をいただく予定です。

考察と今後の取り組み

<市民啓発事業>

薬事所管課が地域の薬剤師会、国保所管課等行政の関係部署と密接に連携して事業を進めることで、市民にわかりやすく、親しみやすい啓発を展開できました。また、関係者(市の他部局や関係団体のスタッフ)にもジェネリック医薬品使用促進の意義への理解が深まったように思います。

今後さらに、患者が安心してジェネリック医薬品を使用するためには、引き続き市民啓発が必要ですので、関係部署や関係団体と連携しながら、取り組んでいきたいと考えています。

<ジェネリック医薬品採用状況調査>

メーカー数、品目数ともに膨大な中からジェネリック医薬品を選択する医療機関、薬局の負担を軽減するために、2018年度まとめた市内の病院における採用ジェネリック医薬品のリストを定期的に更新し、医療機関等に周知していく予定です。

<お薬手帳の活用>

お薬手帳を患者さん自身の健康管理に役立てるだけでなく、薬局・医療機関との間の“連絡帳”として活用していただけるよう、引き続き啓発を行う予定です。

<更なる取り組み～フォーミュラリ>

近年、患者に対して最も有効で経済的な医薬品の使用方針である「フォーミュラリ」がジェネリック医薬品の更なる有効活用手段になり得るということで注目されています。国においても、フォーミュラリに



ついて議論されていますので、その内容や、「懇話会」等における関係者の意見を踏まえ、取り組み方を検討する予定です。

まずは、関係者にフォーミュラリを知っていただく機会を設ける予定です。(既に、市内の薬剤師を対象に研修会を開催しました。日にち:令和元年7月21日、講師:聖マリアンナ医科大学 客員教授 増原 慶壮先生)

<最後に>

市民に最も身近な自治体として、今後も地域の実情を踏まえながら、市民及び市内の医療関係者にジェネリック医薬品を安心して使用していただくための取り組みを進めていきたいと考えています。



7回目のリレー随想

光製薬株式会社

代表取締役社長 高橋 維朗



私が1998年に初めてリレー随想に寄稿してから今回で7回目になります。1998年「浅草ウォッチング」、2002年「続 浅草ウォッチング」、2005年「酉の市」、2011年「あこがれのタワービューオフィス」、2014年「古希」、2017年「懐古」と主に浅草の風物について愚筆をとらせて頂きました。

その間21年の年月が経過し、我が町浅草も大きく様変わりしております。

そこでこの度は、過去の原稿を読み返し、ダイジェストで紹介をさせていただきます。

1回目の「浅草ウォッチング」では、当社があります今戸から浅草界隈を散歩し名所を紹介しております。

歌舞伎十八番の「助六」で有名な花川戸は、現在は多くの履物問屋が営業しており、外国からの観光客の見学コースにもなっています。

また、普段は姿をあらわさない浅草寺伝法院せんそうじでんぼういんの池に住む大サンショウウオが、関東大震災の直前に池から出てきて災害を知らせたという逸話を紹介しました。

2回目の「続 浅草ウォッチング」では、浅草寺から西に向かった浅草六区の紹介を致しました。

浅草六区は昭和30年代頃までは東京の中で一番の娯楽地帯で、飲食店、映画館、ボウリング場等々娯楽に関して、その時代時代で繁栄をしてきた場所でもあります。しかし近年は娯楽の多様化の波に押されて映画産業は元より演芸、寄席というような庶民の娯楽が陰を潜めています。

浅草のシンボルであった松竹歌劇団のホームシアターである国際劇場も現在はホテルにその場所を譲っています。

ただ、なぜか「花屋敷遊園」と呼ばれている小さな遊園地は若い人の話題に出てくる事が多く、その呼び物は何と言っても「ローラーコースター」という乗物であります。

遊園地の外側に沿ってレールが敷かれており、そのレールの上を大して速くないにも拘わらず轟音を発し疾走しております。

私がまだ子供の頃から既に現役として毎日働いているコースターだけに、



リニューアルはしていると思いますが、人間で言うと既に還暦を超えた超ベテラン選手であります。それだけに、いつコースター自身がレールから飛び出し園外にフライングしてもおかしくないという印象があり、乗車した方々は少々違う意味での恐怖感を感じているのではないのでしょうか。

それから当社から徒歩で10分程の吉原の紹介も致しました。

その昔この地は葦あしの原あしはらっぱが続いて葦原と呼ばれていました。その後商売の地となり縁起かつぎで葦あしは悪あしに続くという事から葦あしをよよしと呼ぶようになり、葦原、吉原となったそうです。

ものの本によると、この地は元和元年(1617年)といえますから、今からおよそ400年程前に徳川幕府公許の遊廓として誕生したと書かれています。その頃の江戸はまだ野原の中に遊女屋があちらに二軒、こちらに三軒というふうに散らばっていたそうで、それをある茶屋の主が一か所に集めて遊廓を作る事を幕府に上申し、今の形ができたそうです。

開府以降江戸の町は年々人口が増え賑わいを増す中で、女の人口より男の人口の方がずっと多かったと伝えられています。

その後、明暦の大火(1657年)により江戸の町の大半が焼失してしまい、この地も移転を余儀なくされ現在の観音裏の地に居を構える事になりました。

江戸時代の華やかな社交場として江戸文化の華を咲かせた事は、歌舞伎の「助六」、かごつるべ「籠釣瓶」などで余りにも有名であります。

それから昭和33年までの約300年の間、この地は幾度の大火に見舞われながらも繁栄を続けてきました。

四方を「お歯とぶぐる溝」といわれる堀に囲まれたこの地は、他と隔絶した地域になっていた為、この地特有の風俗、文化を持っていました。

先の戦争以前の吉原は貸座敷かしざしき、引手茶屋ひきてちやや、芸者屋の三つの組合があり、それを取り仕切っているのが三業組合でありました。

その頃は全町3万坪に大見世おおみせ、中見世ちゅうみせ、小見世こみせを合わせた貸座敷が百一軒、四十八軒の引手茶屋、二十九軒の芸者屋ほうかん、幫間(太鼓持ち)、その他の商店で成り立っていました。

引手茶屋というのは、貸座敷(大見世)に登楼するお客の接待をし、貸座敷へ案内するのを仕事としていました。「遣手やりて」という言葉をご存知かと思いますが、遣手とはこの貸座敷の花魁の世話をするおばさん達のごとで、昔は花魁をしていた人が多かったようです。

現代では冷酷無情なあくどい年増女というイメージを世間から持たれている様であります、実はこの様な人達であります。

3回目の「酉の市」では、毎年11月の酉の日に千束の鷲神社おとりじんじやに市がたつ「おとりさま」の紹介を致しました。

酉の日の前夜から鷲神社の境内のいたるところに熊手の市がたち、半天姿の熊手売りの若い衆が客引きを致します。

下町の浅草界限でも11月のなかばを過ぎると北風が吹き始め、街の職人達は爛酒が



恋しくなる季節であります。

吉原大門の見返り柳の前には、土手の中江、あつみ屋という昔からの馬肉料理屋が並んでいて桜肉のすき焼きを肴に酒を飲む楽しみがありました。

以上1回から3回までのダイジェストでしたが、大変残念ですが、紙面に限りがございます為、今回はこの辺で締めさせていただきます。

「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」に係る研修会を実施しました。

| | |
|-----|---------------------------|
| 日 時 | 令和元年9月3日(火) 13:30 ~ 17:00 |
| 場 所 | ベルサール八重洲2F RoomD+F |
| 参加者 | 会員会社33社 95名 |

冒頭、COP委員会 中嶋委員長より開会挨拶があり、本研修会開催の趣旨説明がありました。

次に講演Ⅰでは厚生労働省 医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課より、広告専門官の石井朋之様、法務指導官(弁護士)の堀尾貴将様にお越しいただき、「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン実施について」の演題で其々ご講演をいただき、終了後には多岐にわたる質問に明確にご回答頂き、参加者からは、もやもやした部分がようやくスッキリしたとの意見も寄せられました。

講演Ⅱでは「各社販売情報提供活動ガイドラインの取り組み紹介について」の演題で、以下の会員企業4社の其々の取り組みについて紹介頂きました。

- ①日医工株式会社 井黒 ひとみ様
- ②大原薬品工業株式会社 長野 健一様
- ③辰巳化学株式会社 松浦 衛様
- ④沢井製薬株式会社 松田 佳也様



コンプライアンス特別研修会

| | |
|-----|----------------------------|
| 日 時 | 令和元年9月19日(木) 10:30 ~ 12:00 |
| 場 所 | 品川プリンスホテルメインタワー 19Fゴールド |

独占禁止法をはじめとした競争法に係る法規制は近時大きな変更がなされるとともに、規制当局による運用方針も時代の変化にあわせて変わってきております。環境の変化を適切に捉えることが企業運営には欠かせません。

企業活動を支える「ガバナンス」「コンプライアンス」「リスクマネジメント」のいずれも、経営トップのゆるぎない信念に基づく、明確なメッセージを発することが何よりも求められています。とりわけコンプライアンスは、「徹底的に」「継続的に」「意識的に」取り組まなければならないとされています。全ての、出発点が経営トップの経営姿勢であると考えられます。

このような観点から、2019年9月19日にコンプライアンス研修会を開催し、長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士 井本吉俊先生より、「ジェネリック製薬を巡る独禁法・競争法の課題と対処」と題して独禁法・競争法に係るご講演をいただきました。なお、特別研修会には、会員会社より各社の代表、経営幹部、コンプライアンス責任者並びに担当者など約90名の皆様にご参加いただきました。

ご講演では、ジェネリック製薬企業・業界にとって特に留意しておくべき日本及び世界における独禁法・競争法のポイントや陥りやすい誤解に関して多くの具体例を挙げて分かりやすく解説して頂きました。

講演の最後に、講師の井本弁護士より、今回の研修の内容を社内研修でも活用して頂きたいとの言葉を頂戴しました。各会員企業には是非とも有効活用をお願いします。



次世代産業ビジョン（本編）発表会

| | |
|-----|--------------------------|
| 日 時 | 令和元年9月27日（金） 14:00-15:50 |
| 場 所 | ベルサール八重洲3F ROOM5 |

このたび、2019年9月27日（金）に「次世代産業ビジョン 国民の医療を守る社会保障制度の持続性に貢献する～ Society5.0 for SDGsの実現と共に～発表会」を開催いたしました。

本ビジョンは、これからの我が国の社会・医療環境の劇的な変化を「未来年表」としてとりまとめ、具体的に、“2030年のある日の出来事”を予測しながら、「次世代に向けて社会保障制度の持続性に貢献する為の約束」を宣言する内容となっております。

これまで、医療の質を落とすことなく患者負担を軽減し、且つ、限られた医療資源の有効活用に寄与し、医療保険財政の改善に貢献するために、良品質な医薬品を製造し、安定的に提供することを第一義にしてきたジェネリック医薬品産業が、劇変する未来の情報化社会を想像し、バックカスティング思考で次世代のあるべき姿を提言いたします。

皆様にとって関心のある将来の生活への関わりや、他産業・技術との関わり無くしては成しえない内容をビジョンとして掲げ、産業の変化を強く押し進める所存です。



【ご案内】

| | |
|-----|---|
| 内 容 | 次世代産業ビジョン（本編）説明会 「国民の医療を守る社会保障制度の持続性に貢献する～ Society5.0 for SDGsの実現と共に～」 |
| 日 時 | 令和元年11月19日（火） |
| 場 所 | 東京国際フォーラム（ホールD7） |
| 対 象 | 会員及び会員外の方 |

参加申し込みについて：後日、協会webサイトにてご案内いたします。

第10回 日本アプライド・セラピューティクス 学会学術大会

| | |
|-----|-------------------|
| 日 時 | 令和元年9月7日(土)～8日(日) |
| 場 所 | 大阪薬科大学 |

「今こそ求められる“医薬協業”」をテーマに開催された本学会は、設立当初から医師と薬剤師が連携して、適切な実践薬物治療を行うにはどうすればよいのかを議論し実践されていますが、本大会では医師と薬剤師が協業するためには、実際に何が課題になるのか、そして、協業できれば一体何が起こるのかといったことを、学び深めており、179名の方が参加されました。

当協会ではブースを出展し、「ジェネリック医薬品の啓発資料」のご紹介や「協会の取り組み」についてのご説明を行い、11名の先生方にお立ち寄りいただきました。



第50回

日本看護学会－在宅看護－学術集会

| | |
|-----|---------------------|
| 日 時 | 令和元年9月13日(金)～14日(土) |
| 場 所 | 宇都宮市文化会館 |

「非会員を含む看護職の実践にねざした学術研究の振興を通して看護の質向上を図り、人々の健康と福祉に貢献すること」を目的とした本学会は、日本の看護系学会において最大規模の学術集会です。臨床現場での病態や症状の経過では、あらゆるライフサイクルにある対象者への看護が求められており、本年度はより実践に近いかたちとして7領域にわたり開催され、看護について発信する場としてだけでなく、看護職の交流の場にもなり、2,175名の方が参加されました。

当協会ではブースを出展し、「ジェネリック医薬品の啓発資料」のご紹介や「協会の取り組み」についてのご説明を行い、266名の方にお立ち寄りいただきました。



第1回 体験型小規模イベント(ミニ講座、体験学習)
「個人の疾病予防・健康づくりとジェネリック医薬品」
～しっかり予防。いざという時は、“飲みやすい”という選択～

| | |
|-----|-----------------------------|
| 日 時 | 令和元年11月14日(木) 15:00 ~ 16:40 |
| 入 場 | 無料 |
| 場 所 | 八尾市文化会館(プリズムホール4階) |

プログラム

【ロコモ対策講座】15:05 ~ 15:35

貴島 浩二先生 (医療法人貴医会 貴島中央病院 院長)

～「ロコモ対策による個人の疾病予防・健康づくり」～

【体験コーナー】15:35 ~ 16:35

●ロコモ度テストの実践

(貴島中央病院)

●薬に触れる体験(五感を通じてジェネリック医薬品を知る)

(八尾市薬剤師会)(日本ジェネリック製薬協会)

パネルディスカッション(東京都) 「ジェネリック医薬品シェア80%達成に 向けた課題と解決策」

| | |
|----|---|
| 日時 | 令和元年 11月19日(火) 18:00 ~ 20:30 (17:30開場) |
| 入場 | 無料 |
| 場所 | 東京国際フォーラム(ホールD7) |

プログラム

【第一部】18:15 ~ 20:15

各パネリストからの問題提起、事例紹介と総合討論

【第二部】20:15 ~ 20:30

フロアからの質疑応答

パネルディスカッション(東京都)
入場 / 無料

**ジェネリック医薬品
シェア80%達成に向けた課題と解決策**

ジェネリック医薬品に関する最新かつ正確な情報・知識等をお伝えし、さまざまな疑問や不安を解決していただくためのパネルディスカッションを行います。

●日時 令和元年 **11月19日(火)** 18:00~20:30
●場所 **東京国際フォーラム(ホールD7)**
住所 東京都千代田区丸の内3丁目5-1

・座長：永田 泰造 先生
(公益社団法人 東京都薬剤師会)

・パネリスト：
樋口 恵子 先生
(NPO法人高齢社会をよくなる女性の会 理事長)
鳥居 明 先生
(公益社団法人東京都医師会 理事)
鳥海 孝治 先生
(健康保険組合連合会 東京連合会 専務理事)
元田 勝人 先生
(全国健康保険協会 東京支部 支部長)
山中 一郎 先生
(東京都後期高齢者医療広域連合 保険部管理課長)

【第一部】18:15~20:15
各パネリストからの問題提起、
事例紹介と総合討論

【第二部】20:15~20:30
フロアからの質疑応答

※日本薬剤師会 調剤部 主催です。
©東京国際フォーラム株式会社
※日本薬剤師会センター 認定です。

主催：厚生労働省、
日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会、
日本ジェネリック製薬協会

協賛：日本医師会、日本歯科医師会、
日本薬剤師会、日本調剤薬剤師会、
東京調剤薬剤師会、東京調剤薬剤師会、
調剤薬剤師会連合会、全国調剤薬剤師会、
調剤薬剤師会連合会、東京調剤薬剤師会連合会、
高齢社会をよくなる女性の会

お問い合わせ：日本ジェネリック製薬協会 事務局 03-3279-1890

出演

●座長

永田 泰造 先生 (公益社団法人東京都薬剤師会 会長)

●パネリスト

- (1) 樋口 恵子 先生 (NPO法人高齢社会をよくなる女性の会 理事長)
- (2) 鳥居 明 先生 (公益社団法人東京都医師会 理事)
- (3) 鳥海 孝治 先生 (健康保険組合連合会 東京連合会 専務理事)
- (4) 元田 勝人 先生 (全国健康保険協会 東京支部 支部長)
- (5) 山中 一郎 先生 (東京都後期高齢者医療広域連合 保険部管理課長)

※医師、歯科医師、薬剤師、行政関係者、関係団体のご参加を優先とさせていただきます。
会員会社の皆様におかれましては、ご理解とご了承を頂きますよう、お願い申し上げます。



「SDGs」

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。
(エス・ディー・ジーズと発音します。)

SDGsは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標となります。主に“発展途上国”に向けた目標を掲げたMDGsに対して、SDGsでは、“先進国も含めた全ての国”が取り組むべき目標とされた点が大きなポイントとなります。

持続可能な世界を実現するために17のゴールと169のターゲットから構成され、そこでは、「誰一人として取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

17のゴールをデザインしたSDGsのロゴは、皆さんもどこかで見られたことがあると思います。



少し具体的に見ていきましょう。

SDGsのゴールの3番目に「すべての人に健康と福祉を」とあります。



このゴールには、13のターゲットが示されています。



- 3.1 2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。
- 3.2 すべての国が新生児死亡率を少なくとも出生1,000件中12件以下まで減らし、5歳以下死亡率を少なくとも出生1,000件中25件以下まで減らすことを目指し、2030年までに、新生児及び5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する。
- 3.3 2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。
- 3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
- 3.5 薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。
- 3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
- 3.7 2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする。
- 3.8 すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。
- 3.9 2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
- 3.a すべての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。
- 3.b 主に開発途上国に影響を及ぼす感染性及び非感染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援する。また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(TRIPS協定)及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護及び、特にすべての人々への医薬品のアクセス提供にかかわる「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(TRIPS協定)」の柔軟性に関する規定を最大限に行使する開発途上国の権利を確約したものである。
- 3.c 開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において保健財政及び保健人材の採用、能力開発・訓練及び定着を大幅に拡大させる。
- 3.d すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。

17のゴールごとに、このゴール3の例で記したような細目が、あわせて169のターゲットとして書かれています。



2017年1月に日本の経団連が企業行動憲章の改定をおこない、その中で、Society5.0というコンセプトのもとSDGsに本気で取り組む姿勢を示したことが、経済、ビジネスの観点で大きなインパクトを与えました。

これまでは企業はどちらかと言えば、儲けたお金を一部、あるいは余ったお金を使って社会に良いことを行おう、というCSR的な発想だったものが、SDGsでは、本業を通じて、社会的課題に取り組み世界を変えていこう、と発想の大きな転換を求めるものとなりました(SDGsに対する取り組み自体の“持続可能性を高める”観点からも、企業自身が“儲けることが重要”)。多くの企業が、社会の中で持続的に成長していくため、有効なツールとしてSDGsを位置づけ、具体的な取り組みを始めたことが、今日、SDGsが広く社会に受け入れられた真の理由かと思われます。

今やSDGsは世界共通言語となっています。貸借対照表や損益計算書と言った財務諸表から読み解くことが出来ない「非財務情報」の重要性が強調される中で、企業におけるSDGsの持つ重みは日に日に増すばかりです。さらに、日本のみならず世界中で巻き起こる近年の異常気象(深刻な気候変動や災害をもたらす地球温暖化など)への対策は待ったなしの状況です。

私たちは、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題について、自社で取り組むべき目標を設定し、自社の成長戦略に取り込み、バックカastingによる長期のイノベーションの推進に落とし込むことが大切です。

SDGsの実践を通して、持続可能な豊かな世界を創造していきたいものです。

(ご参考)外務省 動画「SDGs NOW! 17 Goals to Transform Our World」
<https://www.youtube.com/watch?v=WxpZ-b4Qskg>



日誌

9月

| | | |
|-----|-----------------------------------|-----------------|
| 2日 | 総務委員会広報部会ニュース・講演グループ | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| 3日 | 「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」に係る研修会 | ベルサール八重洲会議室 |
| 5日 | 常設委員会委員長会議 | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| 5日 | 信頼性向上プロジェクト(MR教育研修検討チーム) | 〃 |
| 6日 | 総務委員会総務部会 | 〃 |
| 9日 | 薬制委員会CTD-WG | 〃 |
| 10日 | 薬価委員会(幹事会) | TKP大宮会議室 |
| 11日 | 政策委員会実務委員会 | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| 12日 | 再評価委員会(幹事会) | 〃 |
| 17日 | 販売情報提供活動対応委員会 | 〃 |
| 18日 | 品質委員会(幹事会) | 〃 |
| 19日 | コンプライアンス特別研修会 | 品川プリンスホテル |
| 19日 | 理事会 | 〃 |
| 20日 | 薬制委員会(幹事会) | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| 20日 | 薬制委員会全体会議 | 東京八重洲ホール会議室 |
| 20日 | 総務委員会広報部会コミュニケーション広報戦略グループ会議 | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| 24日 | 薬事関連委員連絡会 | 東京八重洲ホール会議室 |
| 25日 | くすり相談委員会 | 〃 |
| 25日 | 総務委員会広報部会(幹事会) | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| 26日 | 安全性委員会(幹事会) | 〃 |
| 27日 | 薬価委員会(幹事会) | 東京八重洲ホール会議室 |
| 27日 | 薬価委員会運営委員会 | 〃 |
| 27日 | 知的財産研究委員会 | 〃 |
| 27日 | 次世代新産業ビジョン発表会 | ベルサール八重洲会議室 |



今月の予定

| | | | |
|-----|--------------------------|----------------------------|-----------------|
| 10月 | 2日 | COP委員会 | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| | 4日 | 製剤研究会 | 東京八重洲ホール会議室 |
| | 7日 | 総務委員会広報部会ニュース・講演グループ | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| | 8日 | 総務委員会総務部会 | 〃 |
| | 9日 | 倫理委員会 | 〃 |
| | 11日 | 薬価委員会(幹事会) | 〃 |
| | 11日 | 信頼性向上プロジェクト(MR教育研修検討チーム) | 東京八重洲ホール会議室 |
| | 15日 | 総務委員会広報部会コミュニケーション広報戦略グループ | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| | 15日 | 政策委員会実務委員会 | 東京八重洲ホール会議室 |
| | 16日 | 薬制委員会(幹事会) | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| | 17日 | 理事会 | 新大阪ワシントンホテルプラザ |
| | 18日 | 品質委員会(幹事会) | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| | 18日 | 品質委員会全体会議 | 東京八重洲ホール会議室 |
| | 18日 | 流通適正化委員会 | スタンダード会議室 |
| | 18日 | バイオシミラー委員会 | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| | 24日 | 安全性委員会(幹事会) | 〃 |
| | 24日 | 安全性委員会全体会議 | TKP日本橋会議室 |
| | 25日 | 薬価委員会(幹事会) | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| | 29日 | くすり相談委員会全体研修会 | ベルサール八重洲会議室 |
| | 30日 | 国際委員会 | 日本ジェネリック製薬協会会議室 |
| 30日 | 総務委員会広報部会(幹事会) | 東京薬事協会会議室 | |
| 30日 | 信頼性向上プロジェクト(MR教育研修検討チーム) | 東京八重洲ホール会議室 | |



心に残ることば

女性・社会学者のパイオニアである上野千鶴子先生をご存知でしょうか。ベストセラー著書「おひとりさまの老後」は記憶に新しいのではないのでしょうか。私は今から十数年前、仕事の関係で上野先生にお会いしたことをきっかけに、先生の「女性学」や「男女同権主義」に関するストレートな考えやそのお言葉に、感銘を受けてきました。先生の学問的感性は、私自身の社会人経験や結婚・出産・育児と、これまでの生き様から得たキャリアとが重なりあうことで、共感を生み出してくれます。

さて、今年の上野先生の話題といたら、4月の東京大学入学式の来賓として述べられた祝辞です。祝辞では医学部不正入試問題、大学全体における女子入学者の比率の低くさ、未だ根強く残っている性差別の現状を指摘。その上で、現在の自分があるのは努力ではなく環境のおかげであるとし、自らの能力を自分のためだけではなく不平等が残る社会において恵まれない人々を助けるために使うこと、そして、待ち受けているのは予測不可能な未知の世界であり、未知を探求し続けることを惜しまないでほしいと述べられたことでした。

以下、祝辞を抜粋(一部省略)。

「あなたたちが今日「がんばったら報われる」と思えるのは、これまであなたたちの周囲の環境が、あなたたちを励まし、背を押し、手を持ってひきあげ、やりとげたことを評価してほめてくれたからこそです。世の中には、がんばっても報われないひと、がんばろうにもがんばれないひと、がんばりすぎて心と体をこわしたひとたちがいます。がんばる前から、「しょせんおまえなんか」「どうせわたしなんて」とがんばる意欲をくじかれるひとたちもいます。」

「あなた方を待ち受けているのは、これまでのセオリーが当てはまらない、予測不可能な未知の世界です。これまであなた方は正解のある知を求めてきました。これからあなた方を待っているのは、正解のない問いに満ちた世界です。学内に多様性がなぜ必要かと言えば、新しい価値とはシステムとシステムのあいだ、異文化が摩擦するところに生まれるからです。未知を求めて、よその世界にも飛び出してください。異文化を怖れる必要はありません。人間が生きているところでなら、どこでも生きていけます。あなた方には、東大ブランドがまったく通用しない世界でも、どんな環境でも、どんな世界でも、たとえ難民になっても、生きていける知を身につけてもらいたい。大学で学ぶ価値とは、すでにある知を身につけることではなく、これまで誰も見たことのない知を生み出すための知を身に付けることだと、わたしは確信しています。」

この祝辞の受け側として賛否両論あるかと思いますが、私はこの祝辞には本来、人として大切な自助努力がデフォルトに陥りつつある現代に対して深意が込められていると感じました。そしてなぜか女性だから生き辛い社会だということを忘れさせてくれ、「もっと正々堂々と生きなきゃダメよ」とどこからなく声が聞こえてくるようでした。私は先生のファンの一人としてこの名演説を励みに多様性に満ちた社会の中で日々邁進してまいります。

(K.M)